

株主のみなさまへ

第93期 中間事業報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



目次

ごあいさつ	1
主要なセグメント概況	3
連結財務諸表(要旨)	5
財務ハイライト	7
会社概要	8
株主情報	9



代表取締役社長 田中 健一

《基本理念》

- 「社会」、「生命」、「環境」に貢献する。
- 株主、顧客・取引先、地域社会、従業員を大切にする。
- 遵法精神を重んじ、透明な経営を行う。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに当社の第93期中間事業報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成27年12月

第93期上半期業績

売上高	528億円	前期比	4.6%増	▲
営業利益	34億円	前期比	39.6%増	▲
親会社株主に帰属する四半期純利益	15億円	前期比	17.4%減	▼

第6次中期経営計画の基本方針である 「既存事業の強化」と「成長基盤の強化」に向けた重点諸施策を着実に進め、 業績の安定化、利益ある成長を目指してまいります

第93期上半期の経営環境

当上半期(平成27年4月1日から平成27年9月30日)における世界経済は、米国など一部先進国では景気の緩やかな拡大も見られましたが、欧州、アジアでは、中国経済減速の影響が大きく、景気は下降基調で推移しました。日本経済は、個人消費や企業収益を支えてきた輸出が伸び悩むなど景気回復の動きに足踏みが見られました。

当社グループの主力事業を取り巻く市場環境は、酸化チタンにおいては、国内需要が関連業界の需要不振の影響を受け前年同期を下回り、海外では一段と市況の軟化傾向が強まるなど厳しい状況が続きました。農業においては、農産物価格の低迷と景気減速の影響を受け近年需要拡大を牽引してきたブラジルでの農業需要が減少に転じるなど、世界の農業出荷額は前年同期を下回りました。

第93期上半期の業績

このような状況の下、当社グループは、当期(平成28年3月期)を初年度とする第6次中期経営計画をスタートさせ、機構改革による組織体制の見直しを進めるなど主要な施策にスピード感をもって取り組んでおります。

この結果、当上半期の連結業績は、売上高528億円(前年同期比23億円増)、営業利益34億円(前年同期比9億円増)、経常利益23億円(前年同期比2億円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億円(前年同期比3億円減)となりました。

第93期通期の見通し

今後の見通しにつきましては、酸化チタン需要や製品市況、国際的な農産物価格の動向など先行き不透明ではありますが、市場環境を注視しながら環境変化に前広に対応するとともに、第6次中期経営計画の基本方針である「既存事業の強化」と「成長基盤の強化」に向けた重点諸施策を着実に進めてまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高1,030億円、営業利益69億円、経常利益52億円、特別利益に2年前事業活動を停止し不要となった海外連結子会社の事業用土地借地権の譲渡益などを織り込み、親会社株主に帰属する当期純利益114億円と予想しております。

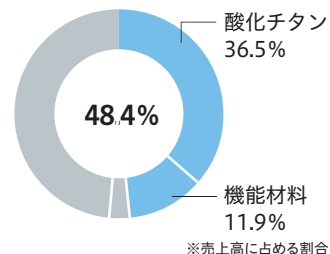
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(通期の業績予想の前提としている93期第3四半期以降の主要為替レートは、115円/米ドル、130円/ユーロと想定しています。)

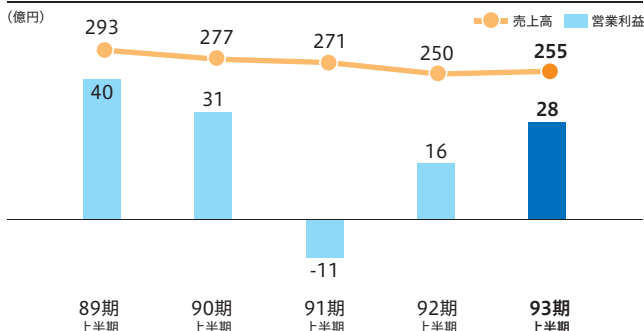
無機化学事業

営業品目

- 酸化チタン タイペーク(硫酸法A型・R型 塩素法R型)・タイペークイエロー(レモン・レディッシュ)
- 機能材料 超微粒子酸化チタン・超微粒子酸化亜鉛・導電性材料・光触媒酸化チタン・高純度酸化チタン・高純度四塩化チタン・触媒用酸化チタン・針状酸化チタン・ガラスコーティング
- 環境商品 ジブサンダー・フィックスオール・MT-V3
- 電池材料 エマナイト



無機化学事業の売上高、営業利益



※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

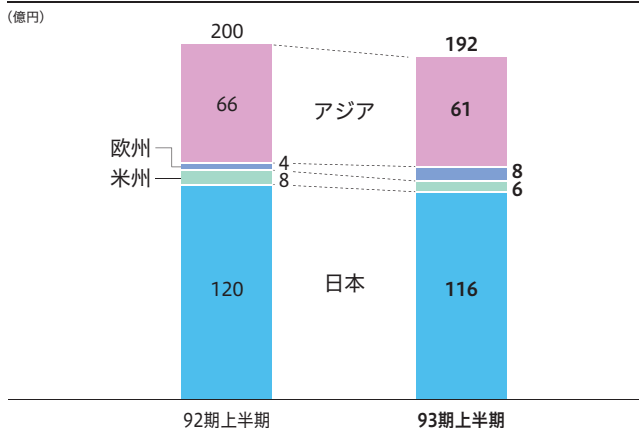
酸化チタン

- 国内向けは、関連業界の需要低迷により販売量が減少
- 海外向けは、競合品との価格競争の影響を受け販売量が減少

機能材料

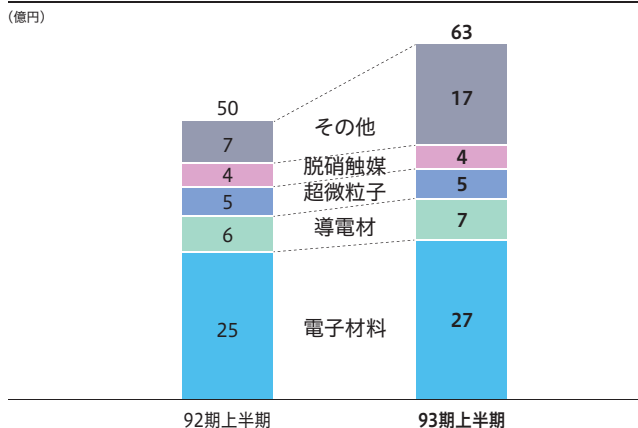
- 電子部品用途向けや導電性材料の販売が好調
- 昨年度販売を開始した新製品の売上が増加

酸化チタンの地域別売上高



※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

機能材料の分野別売上高

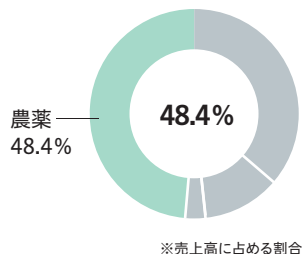


※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

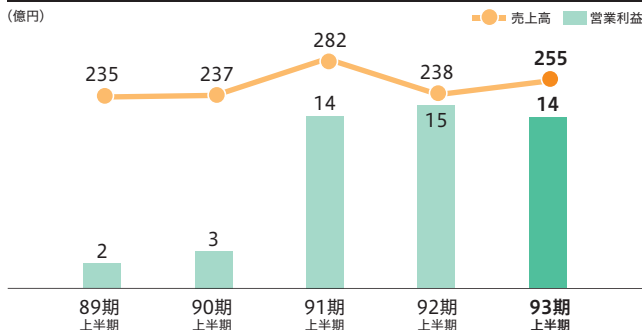
有機化学事業

営業品目

- 農 薬 除草剤・殺虫剤・殺線虫剤・殺菌剤・植物成長調整剤・生物農薬・展着剤
- 医 薬 等 医薬原末・HVJ-Eベクター
- 有機中間体 CF3-ピリジン誘導体



有機化学事業の売上高、営業利益

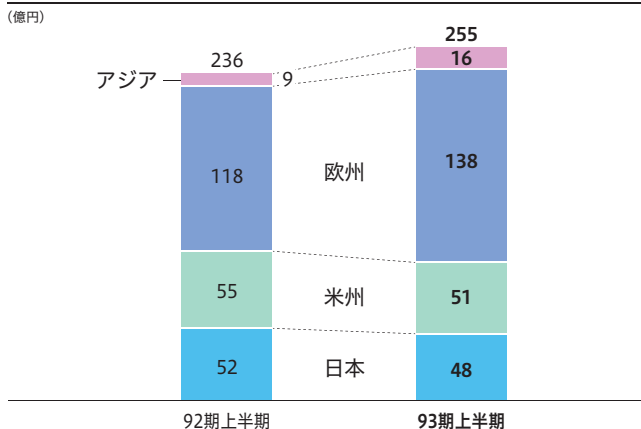


※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

農薬

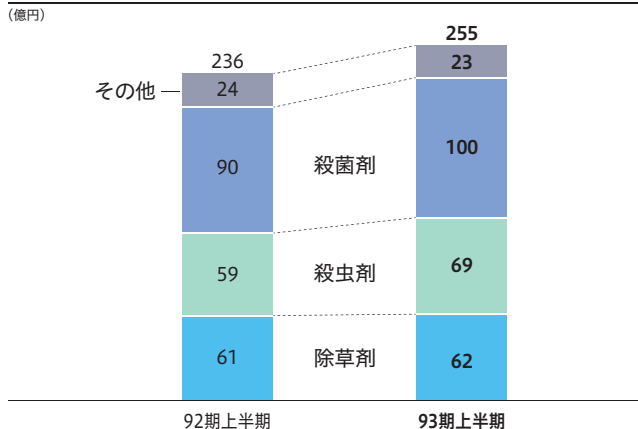
- 国内では天候不順などの影響を受け販売量が減少
- 欧州では新たな混合剤を上市するなど既存剤の拡販に注力し販売が増加
- アジアでは着実に販売量が増加
- 近年需要拡大を牽引してきたブラジル向けは、景気減速により販売量が減少

農薬の地域別売上高



※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

農薬の用途別売上高



※ 億円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	92期 平成27年3月31日現在	93期上半期 平成27年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	107,468	106,139
現金及び預金	21,471	23,447
受取手形及び売掛金	29,059	29,554
たな卸資産	53,376	49,529
その他	3,560	3,608
固定資産	61,946	59,883
有形固定資産	44,525	43,323
無形固定資産	147	178
投資その他	17,273	16,381
1 資産合計	169,414	166,022

Check Point

1 総資産

現金及び預金が増加しましたが、たな卸資産が減少したことなどにより前期末比3,391百万円減少して166,022百万円となりました。

(単位:百万円)

科目	92期 平成27年3月31日現在	93期上半期 平成27年9月30日現在
(負債の部)		
流動負債	56,892	58,898
支払手形及び買掛金	12,409	17,227
短期借入金	31,472	29,591
関係会社整理損失引当金	323	87
フェロシルト回収損失引当金	2,458	1,248
その他	10,228	10,743
固定負債	59,307	52,748
社債及び長期借入金	43,287	36,417
退職給付に係る債務	12,084	12,196
その他	3,935	4,133
2 負債合計	116,199	111,647
(純資産の部)		
株主資本	53,949	55,500
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,626	10,626
利益剰余金	600	2,153
自己株式	△ 697	△ 700
その他の包括利益累計額合計	△ 734	△ 1,124
3 純資産合計	53,215	54,375
負債純資産合計	169,414	166,022

2 負債

支払手形及び買掛金が増加しましたが、長短借入金やフェロシルト回収損失引当金が減少したことにより前期末比4,552百万円減少して111,647百万円となりました。

3 純資産

四半期純利益1,553百万円を計上したことを主因として前期末比1,160百万円増加し、54,375百万円となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	92期上半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	93期上半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
4 ▶ 売上高	50,492	52,834
売上原価	36,776	38,216
売上総利益	13,715	14,617
販売費及び一般管理費	11,217	11,131
5 ▶ 営業利益	2,498	3,486
営業外収益	1,213	377
営業外費用	1,632	1,503
経常利益	2,079	2,360
特別利益	312	-
特別損失	211	250
税金等調整前四半期純利益	2,179	2,109
法人税等	299	556
四半期純利益	1,879	1,553
6 ▶ 親会社株主に帰属する四半期純利益	1,879	1,553

4 売上高

無機化学事業では酸化チタンが国内外の需要低迷と海外での価格競争の影響により前年同期を下回りましたが、機能材料は電子部品向けや導電性材料が好調であったこと並びに昨年第2四半期に販売を開始した新製品が当上半期を通じて売上げに寄与したことから前年同期を上回り、酸化チタンの減収をカバーして無機化学事業全体で前年同期を上回りました。有機化学事業では国内販売が天候不順などの影響により前年同期を下回り、海外販売においては南米向けが不調であったものの北米、アジアでの販売が伸長したことなどにより有機化学事業全体として前年同期を上回りました。この結果、前年同期比2,342百万円の増収となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	92期上半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	93期上半期 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
7 ▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,812	12,004
8 ▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,312	△ 790
9 ▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,576	△ 9,301
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 119	63
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 196	1,976
現金及び現金同等物の期首残高	17,185	21,281
10 ▶ 現金及び現金同等物の期末残高	16,989	23,257

5 営業利益

主に無機化学事業における機能材料の販売増などにより、前年同期比988百万円の増益となりました。

6 親会社株主に帰属する四半期純利益

前年営業外収益に計上していた為替差益が差損に転じたことや前年特別利益に計上していた残余財産分配金が無くなったことなどにより前年同期比326百万円の減益となりました。

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益2,109百万円を計上したことに加え、たな卸資産の減少、仕入債務の増加などにより12,004百万円の収入(前年同期比4,192百万円の収入増)となりました。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得などにより、790百万円の支出(前年同期比522百万円の支出減)となりました。

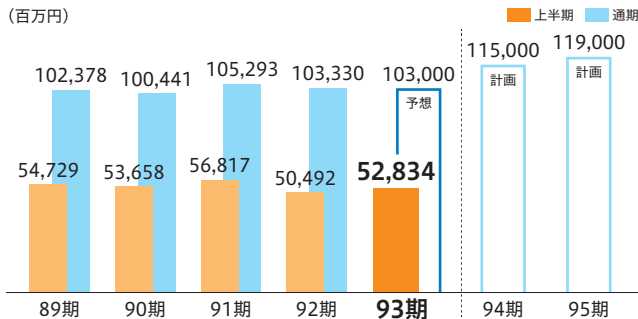
9 財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済などにより、9,301百万円の支出(前年同期比2,725百万円の支出増)となりました。

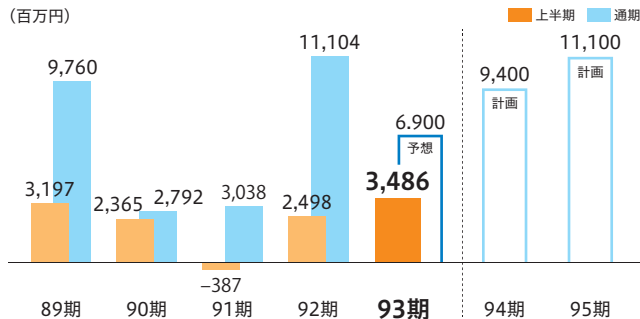
10 現金及び現金同等物

現金及び現金同等物は前期末より1,976百万円増加し、23,257百万円となりました。

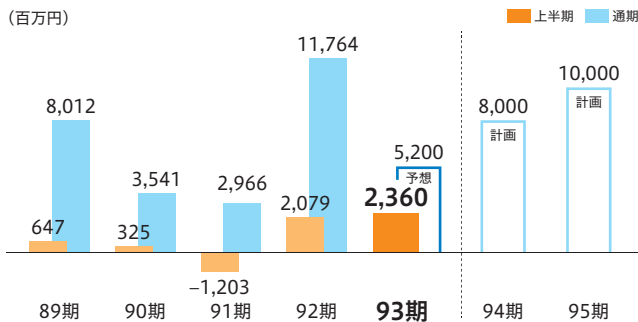
売上高の推移(連結)



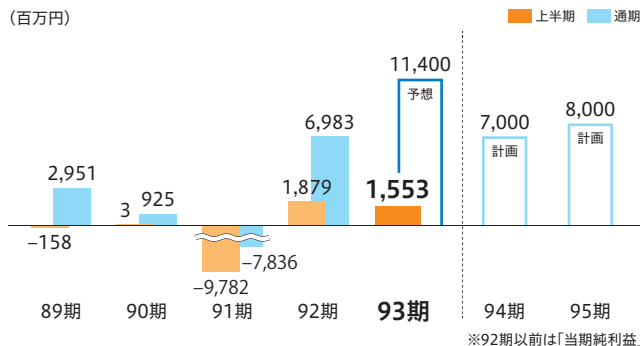
営業利益の推移(連結)



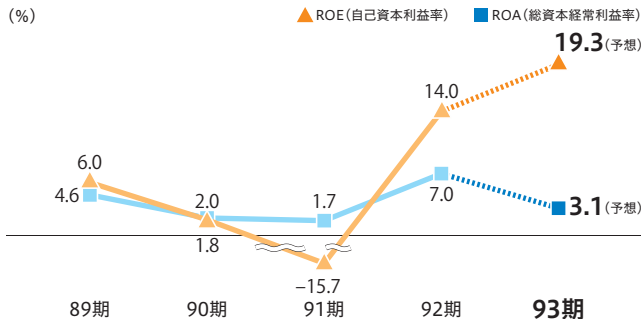
経常利益の推移(連結)



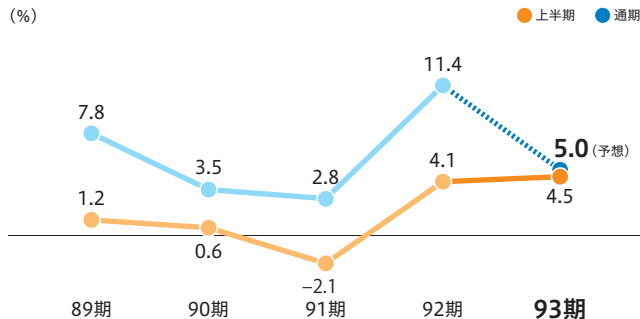
親会社株主に帰属する当期純利益の推移(連結)



ROE・ROAの推移(連結)



売上高経常利益率の推移(連結)



(通期の業績予想の前提としている93期第3四半期以降の主要通貨の為替レートは、115円/米ドル、130円/ユーロと想定しています。)

※百万円未満を切り捨てて表示しています。

会社概要

(平成27年9月30日現在)

商号	石原産業株式会社
英文商号	ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.
本社	〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号 TEL:06-6444-1451(総務部)
設立	昭和24年6月1日
資本金	43,420,548,178円
従業員数	1,123名
事業所	大阪本社、中央研究所、四日市工場、東京支店、中部支店、札幌営業所、仙台営業所、福岡営業所、アルゼンチン支店、シンガポール支店、上海駐在員事務所、北京駐在員事務所

役員

(平成27年9月30日現在)

代表取締役会長	藤井 一孝
代表取締役社長	田中 健一
取締役	寺川 佳成
取締役	新 道義
取締役	小林 明
取締役	本多 千元
取締役	鈴木 良之
取締役	米村 紀幸(社外取締役)
取締役	寺西 大三郎(社外取締役)
常勤監査役	東山 啓治
常勤監査役	秋國 仁孝(社外監査役)
監査役	播磨 政明(社外監査役)

主なグループ会社

(平成27年9月30日現在)

連結子会社(国内・海外)

[ベルギー]

ISK BIOSCIENCES EUROPE N.V.

欧州農業事業統括および農業の製造・販売

[アメリカ]

ISK AMERICAS INCORPORATED <オハイオ>

米国所在子会社の統括管理

ISK BIOSCIENCES CORPORATION <オハイオ>

米州における農業の登録および市場開発

ISK MAGNETICS, INC. <オハイオ>

資産管理

ISK BIOCIDES, INC. <テネシー>

木材防腐剤の製造および販売

ISHIHARA CORPORATION(U.S.A)

<カリフォルニア>

主として無機製品の販売

[台湾]

台湾石原産業股份有限公司

無機製品の販売

[日本]

石原バイオサイエンス株式会社

農業の販売

石原テクノ株式会社

商社業

富士チタン工業株式会社

酸化チタン、機能材料等の製造および販売

石原エンジニアリングパートナーズ株式会社

建設業

四日市エネルギーサービス株式会社

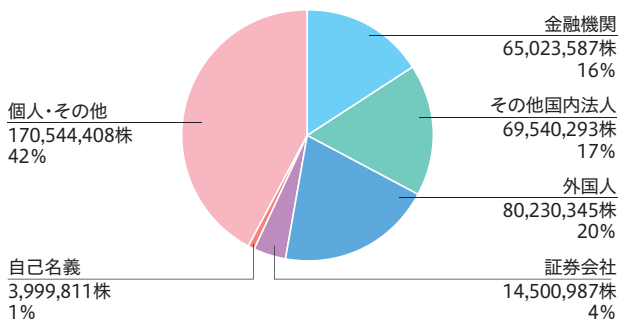
産業用電力および蒸気の生産、供給、販売

株式の状況

(平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数	10億株
発行済株式の総数	403,839,431株
株主数	37,151名

株式所有者別分布状況



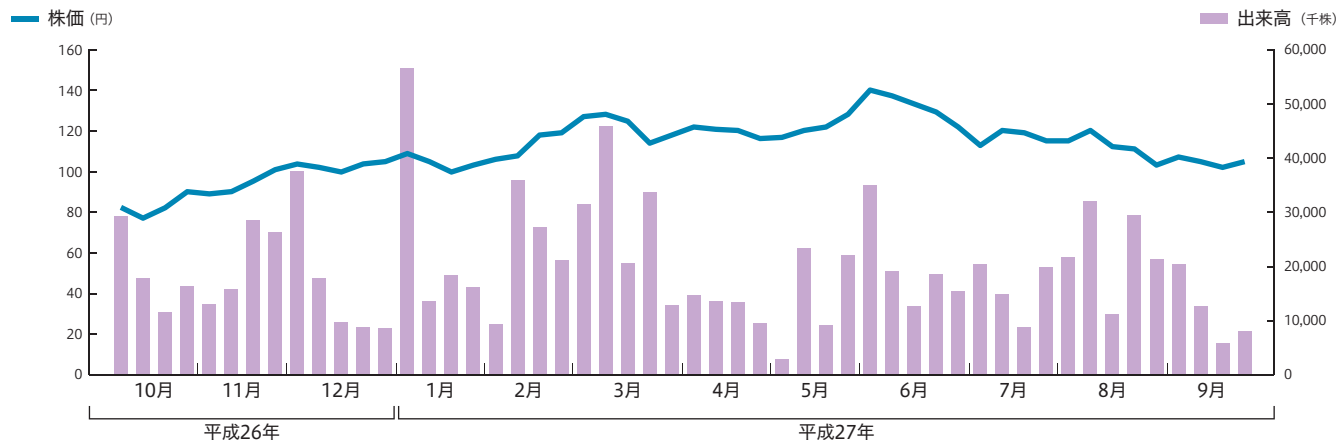
大株主

(平成27年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)
三井物産株式会社	20,192
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES PARIS/ JASDEC/FBB SEC/BELCHIM MANAGEMENT	18,000
東亜合成株式会社	17,222
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,668
ユーピーエルジャパン株式会社	11,700
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,311
ISK交友会	7,996
石原産業従業員持株会	7,579
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	6,700
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	5,819

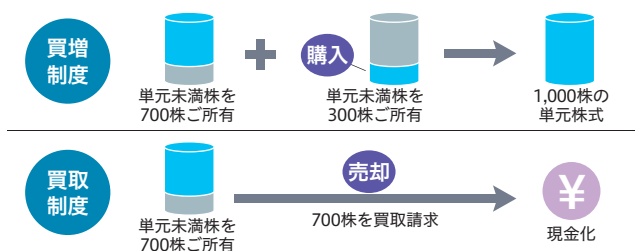
(注) 株式数は株主名簿上の数で千株未満を切り捨てて記載しております。

株価と出来高の推移



単元未満株式(1,000株未満の株式)について

当社の株式は1単元が1,000株となっています。株主様がご所有の単元未満株式(1,000株未満)につきましては、市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。もし、そのような単元未満株式をお持ちでしたら、買増制度、買取制度をご利用ください。



ご注意事項

買増、買取単価は、そのご請求が当社株主名簿管理人事務取扱所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会・期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日
単元株式数 1,000株
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
当社ホームページアドレス
<http://www.iskweb.co.jp>

特別口座で株式をご所有の株主様へ

平成21年1月より「株券の電子化」が実施され、株主様ご所有の株式につきましては、当社が開設いたしました「特別口座」に記録されております。

特別口座ご利用の株主様は、「特別口座」のまま株式を市場で売買することはできません。ご所有株式を市場で売却するには、株主様名義の証券会社の口座(一般口座)に振り替える必要がございます。既に一般口座をお持ちの場合は、特別口座から一般口座へ振り替えた後、ご売却が可能です。一般口座をお持ちでない場合は、新たに口座を開設していただく必要がございます。口座開設のお手続き方法については、最寄りの証券会社へお問い合わせください。

株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
本店および全国各支店で行っております。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報等 株主のみなさまに有益な情報を多数発信しておりますのでご覧ください。

トップページ



IR情報



石原産業

検索

<http://www.iskweb.co.jp/>

ISK 石原産業株式会社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
TEL:06-6444-1451 FAX:06-6445-7798

**UD
FONT**

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすい
デザインの文字を採用しています。



環境にやさしい
植物性インキを使用しています。